



スペイン、コルーニャ

窓から世界をみてみよう

風土と文化のなかで培われてきた窓の多様性

建築博物教室 第5回 公開ギャラリーセミナー

窓のアーキテクチャ

能作 文徳

東京工業大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 助教／建築学(意匠・設計)

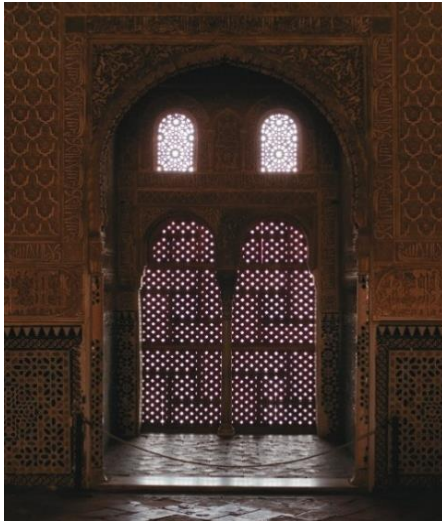
日時：2014年12月14日(日) 13:30～15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館 2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要) 定員：30名

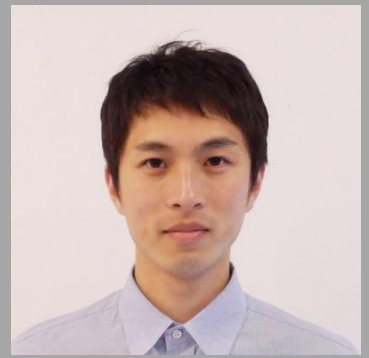
窓のアーキテクチャ

能作 文徳



左上: イタリア、ボジターノ 右上: スペイン、グラナダ 下: スペイン、コルーニャ

東京工業大学塚本研究室では 2007 年より YKK AP 窓研究所との共同研究に参加し、100 以上の世界の各地の都市を訪れ、「ふるまい」をキーワードに実測、聞き取りなどの調査を行ってきました。窓には光、風、雨、熱などの自然要素のふるまい、日だまりや風通しのよい場所に寄り添い、窓の開閉を調整する人のふるまいがあります。また窓にはそれぞれの地域の気候風土や文化習慣への配慮が反映されるため、ある地域には似たような窓が反復されることとなります。このような共有された特徴をもつ窓が通りに反復されることで街並が形成されます。このような窓自体が反復するふるまいは、時代ごとの生活様式や技術によって変容しながら受け継がれる窓の系譜、法律や条例などの制度、地域ごとの工場や工房により生産体制といった関係が均衡した状態と捉えることができます。人が生活する場所にはどこにでもある窓。この窓という小さな存在から世界を読み解いていきます。



能作 文徳 (のうさく ふみのり)

略歴 :

1982 年 富山県生まれ
 2005 年 東京工業大学卒業
 2007 年 東京工業大学大学院修士課程修了
 2010 年 能作文徳建築設計事務所設立
 2012 年 東京工業大学大学院建築学専攻博士課程修了
 2012 年 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻 助教(塚本研究室)

受賞:

2010 年 東京建築士会住宅建築賞
 「ホールのある住宅」
 2013 年 SD レビュー-2013 鹿島賞
 「高岡のゲストハウス」

著作:

『Window Scape 窓のふるまい』
 (共著)フィルムアート社、2010
 『WindowScape2 窓と街並の系譜学』
 (共著)フィルムアート社、2014



スリランカ、ルヌガンガ

東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
 Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)
 入館料: 無料
 休館日: 月・火・水曜日
 (いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、
 その他博物館が定める日

アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分
<http://www.um.tokyo.ac.jp/architectonica/index.html>

建築博物館とは?

「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ
KOISHIKAWA Annex.
UMUT

東京大学総合研究博物館小石川分館